記載例

R6.2 更新

◎　同意承諾書

(1)　同意承諾書は、論文目録「２．印刷公表の方法及び時期」に記載の共著者（共同研究者。以下、共著者という。）１名につき１枚ずつ、Ａ４判で作成してください。
(2)　共著者に依頼する際には、同意承諾書の他、後掲の「東京大学学術機関リポジトリ登録要件」も渡してください。
(3)　本文全体をインターネット公表することを許諾しない共著者が１人以上いる場合（故人を含む）には、特例による公表の申請を行い、論文の要約PDFを提出する必要があります。なお、特例による公表の場合においても論文の全文PDFの提出は必要です。
(4)　日付は、承諾年月日としてください。
(5)　署名は必ず共著者の自署としてください。共著者が外国人の場合、サインの判読が難しい場合があるため、氏名の部分はタイプ打ちした上でサインしてください。
(6)　同意承諾書は、原本の複写での提出を可能とします。複写を提出する場合、原本については、学位申請者または共著者が学位取得後10年、保管するようにしてください。
(7)　参考論文の共著者（共同研究者）については、同意承諾書を必要としません。
(8)　故人の同意承諾書の提出は要しませんが、親族から同意承諾書を得られた場合には、その承諾は有効となります。その場合、故人との関係も明記してください。

同　意　承　諾　書

本郷駒場氏提出の博士論文中，私と共著（共同研究）の下記部分については，　本郷駒場氏の博士論文とすることを承諾いたします。

また、(①または②のどちらかにチェックを入れてください。)

□ ① 本文全体を「東京大学学術機関リポジトリ登録要件」にしたがって、東京大学学術機関リポジトリ*1)で公表することを承諾いたします。
(①にチェックする場合、以下のいずれかにもチェックを入れてください。)
なお、東京大学学術機関リポジトリにて全文公表した博士論文について、米国 ProQuest 社の学位論文データベース「ProQuest Dissertations & Theses Global」*2)へ登載することを
□　承諾します。　　□　承諾しません。

□ ② 本文全体を公表することには承諾せず、代わりに学位申請者作成の博士論文の内容を一部除外（または要約）したものを東京大学学術機関リポジトリ*1)で公表することを承諾いたします。

記

(1)　昭和〇〇年〇〇月　〇〇〇〇〇〇雑誌　〇〇巻　〇〇～〇〇頁
「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」　（　〇　〇，〇　〇　と　共　著　）
(2)　平成〇〇年〇〇月　〇〇〇〇〇学内誌　〇〇号　〇〇～〇〇頁
「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」　（　〇　〇　と　共　著　）
(3)　令和〇〇年〇〇月　〇〇〇〇〇学会誌　〇〇月号〇〇～〇〇頁に公表予定
「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」　（　〇　〇　と　共　著　）

共著の内容については，論文目録「２．印刷公表の方法及び時期」と同じ内容を記載する

令和〇〇年〇〇月〇〇日

共著者（共同研究者）
氏　　名
（　自　署　）

*1) 東京大学学術機関リポジトリとは、東京大学で生産された、さまざまな研究成果を電子的な形態で集中的に蓄積・保存し、学内外に公開することを目的としたインターネット上の発信拠点（サーバ）です。https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/
*2) 「ProQuest Dissertations & Theses Global」は、米国ProQuest(プロクエスト)社が提供する学位論文データベースで、北米を中心に世界各国の修士・博士論文の650万件以上の書誌データ、300万件以上の全文データを検索・閲覧することができます。東京大学は東京大学学術機関リポジトリで公表された博士論文について、書誌・全文情報を当データベースに提供することをProQuest社と合意しています。当データベースに登載された博士論文の情報は、「Web of Science」からも検索可能になります。